



# ロータリーを通じて 世界理解と平和を



WORLD UNDERSTANDING & PEACE THROUGH ROTARY

会長 新穂光一郎 幹事 藤川享胤 副会長・クラブ奉仕 内山喜一 職業奉仕 迎田 稔 社会奉仕 川村徳男 国際奉仕 横田庄司 青少年奉仕 佐藤順治

出席報告：会員 71 名 出席 51 名 出席率 71.83 % 前回出席率 76.06 % 修正出席 66 名 確定出席率 92.96 %

## 地区協議会報告

1982～1983・国際ロータリー第253地区

1982.6.19～20

於：天童市民文化会館

### ○石黒慶之助ガバナイレクト

先日の地区協議会に於ては皆様方からの絶大なるご協力により、私の予期した以上の成果を得ました事と、ホストクラブの天童 R.C の皆様方の温かい友情によりまして無事に成功する事が出来ました事を心から感謝申し上げます。

### ○小池繁治地区協議会副委員長

作田ガバナの現況報告を申し上げます。当地区の現在の会員数3,544名(S57.5.31現在)前年度3,438名で期中の増加は106名です。一昨年は110名増でしたので、それを上回る事を期待するとの事です。

各クラブの増強状況ですが、1番が庄内分区19名増、2番が中央分区17名増・いわき分区17名増です。出席率(S57.5.31現在)全体で91.84%で前年は91.79%で、わずかに良くなっております。分区毎で出席率が良いのは会津分区96.62%、中央分区95.87%、置賜分区93.53%がベスト・スリーです。

インターアクト・クラブは温海高校と日本女子工業高校が増加して、15クラブになり、ロータリーアクト・クラブは11クラブで増減なしです。米山奨学金は、東北・北海道に於て最高となり、累計で第2位となりました。

ロータリー財団の寄附は S57.4.30現在で相馬 R.C.6,500%、飯坂 R.C.4,800%、会津若松西 4,800%、天童 R.C.4,300%、遊佐 R.C.4,300%、猪苗代 R.C.4,300%、山形西 R.C.4,100%、保原 R.C.4,100%です。

山形 R.C.の中からポール・ハリス・フェロー、準フェローが10名申し込みがありました。

財団については、1人当り40ドルの目標を達成できそうだと事です。因みに昨年は27.8ドルだ

ったとの事です。

世界社会奉仕関係では、フィリピンのNo.1436地区に養豚計画を通じて協力し、遊佐の土門氏が多大な援助をなされまして世界的に脚光を浴びる程の成果を上げる事が出来たとの事です。詳細については後程記録に基づく報告書が出されますのでご了承下さい。

### 会長部会

### 中江亮会長イレクト

76名の次期会長が集まりまして、部会のリーダーは石黒ガバナ・ノミニーでございました。楽しいクラブの運営の方法等について、クラブのチーム・ワーク、理事会・委員会の持ち方、幹事との円滑な仕事の仕方について又、理論と行動が一致しない場合が多いので、出来るだけ一致するように努力する事、ロータリー・クラブは奉仕は当然であるけれども、他人に迷惑をかける事が非常に大事であると強調されました。

公式訪問の時間帯は11:00～12:00会長・幹事会 12:30～1:30 例会、その後2～3時間のクラブ協議会を行なう予定との事です。公式訪問の時の例会にインターアクト・クラブ、ロータリーアクト・クラブの委員長を招待するようにとのご指示がありました。

郡山の安藤次期分区代理より、クラブ運営について発言があり“ロータリアンは社会的に責任ある立場の方々である彼らが、ハンドルを握っている間は、職業奉仕か、社会奉仕をやっている時間である。ハンドルを離れた時が休憩の時間であり休憩時間が例会である。例会場はドライブインである。出来るだけ、ゆっくりすべき時間を何んで堅苦しくやる必要があるか”と考えを述べられまして、大変感銘を受けて参りました。

庄内に空港を建設しましょう

## 幹事部会

佐藤元伸次期幹事  
 リーダー 阿部博地区幹事  
 小松広穂次期地区幹事  
 鈴木四郎分区代理

## 議題

### クラブの年会費の問題

各クラブとの意見交換があり、最低が年会費12万円のクラブが2～3ありました。最高が年18万円で他に特別会計等もあるクラブがあり、平均的には14～15万円のように。入会金は最低1万円で、最高が6万5千円で、平均的には2～3万円位でした。全体的に値上げするクラブが多く、値下げするクラブは温海ロータリー・クラブ、当クラブ等比較的少ないようでした。

事務費用の件ですが、事務員なしのクラブが4～5クラブあり、事務員がいるクラブの事務負担金は月額最低1万円から最高10万円位で、郡山ロータリー・クラブのように、郡山地区のロータリー・クラブが合同で専従職員を設けているクラブもございました。

午後の部に於て、幹事の心がまえについて各リーダーより詳細に説明があり、大変勉強させていただきました。

分科会の会場が狭く、マイクの設備がないために後方に声が通りにくかったのが残念に思いました。接待の天童ロータリー・クラブの方々や女子高校生(山形学院バスケット部)が礼儀正しく大へん感じが良かったと思います。

## クラブ奉仕部会

川村徳男君  
 リーダー 作田正治ガバナー  
 副リーダー 本間儀左工門  
 地区クラブ奉仕委員長  
 〃 吉田長三郎  
 次期クラブ奉仕委員長  
 〃 鈴木幹雄分区代理

### 1. テーマ「出席」

吉田副リーダー担当  
 ロータリー・クラブは、クラブの綱領を実践するため、クラブ会員の一人一人の協力を得て活動しなければなりません。そのためにはクラブのメンバーが集まることが必要である。出席率の良いクラブは、奉仕活動、親睦活動が活発である。98%は名誉ある出席率であり、友情をそこねてまで100%にする必要はない。(吉田副リーダー)

(事例発表) 例会を楽しく、出席率を良くするため多くのクラブは苦心しているようである。魅力あるプログラム(郡山北・山形)、夜の例会、移動会場(上ノ山)、ロータリーの歌に限らず例会でナツメロを歌う(山形西)……など。

反面、出席についてはどうしてもならないとあきらめムード(いわき四倉)、常に100%であるから出席については全く関心がない、格別アイデアもなく、努力をしているわけでもない。強いていえば、健康で事業が順調にしているからだと思う(会津若松南)。

(講評) 出席率の目標をたて、達成しない場合は、その理由を例会でみんなで分析してみるとか会員の一人一人が関心をもつことが大切で、出席委員会だけではどうしてもならない。家族を含めた移動例会とか……楽しい例会にするよう工夫して

欲しい。(作田リーダー)

### 2. テーマ「親睦」

本間副リーダー担当  
 ロータリーの発生の原点は、奉仕の活動が中心ですが、奉仕をする前の原動力は、ロータリー会員の親睦・友情にあるのではないかと。

石黒イレクトは「自分のハートとみなさんのハートをがっちり結びましょう」と言われたが、奉仕をする前に、我々は仲間なんだ、同志なんだという認識が先ずなければならないということだと思う。親睦は奉仕活動の潤滑油であり、優れた出席率をあげているところは優れた親睦活動をやっていると思う。(本間副リーダー)

(事例発表) 家族旅行、クリスマス家族会、ゴルフ部会、ボーリング部会(会津若松西)1泊で県外他クラブと合同例会、マージャン大会(温海)……など。

(講評) できるだけ家族を含めた会合を多くしたり、近隣クラブとの合同例会やレクリエーションを折り込むなど親睦には大へん良いが、クラブの先輩とか、先輩の方が先頭に立ってやらないと新しい人はなかなかやりにくいので、心がけて欲しい(作田リーダー)

### 3. テーマ「会員増強」

鈴木副リーダー担当  
 会員増強しなければロータリーは発展しない。現況は、世界的不況でヨーロッパでは退会者が多く、10%位減少している。R.I会長は少なくとも現状を維持して欲しいと訴えている。当地区は5月末で、山形県+50、福島県+56、全体で106の増になっています。

(事例発表) 56年発足したが、ロータリーとは何かを知らないで入った人が大部分(中山)、古い会員でどうしても出席しないので理事会の決議でやめてもらった例があるが、会員増強を急ぎすぎると出席が悪かったり、2～3ヶ月でやめてしまうケースもあるので慎重にやりたい。(遊佐)

## 会長報告

○ロータリー用語のガバナーの呼び方ですが、パスト・ガバナーをP.G、ガバナー・ノミニオンをG.Nと書くのは良いのですが、ザ・ロータリアン誌等を見ますと、現ガバナーをディストリクト・ガバナーD.Gと書いてあります。今後記録等を担当する方は注意した方が良いでしょう。

○横田庄司君が東京海上火災保険(株)鶴岡支社長から7月1日付で本店の東京営業第3部、契約3課長として栄転の為に退会の挨拶があり、後任の支社長さんが入会の予定になっております。6月26日昼の天の川で出発、転地でのご健闘を心からお祈り申し上げます。

## スマイル

横田庄司君一退会を記念して。  
 風間慶三君一病気見舞に感謝して。

## ビジター

鶴岡西R.C 佐藤拓君、林権之助君、長野正彦君  
 (今週の担当者 佐藤元伸)